

別紙1 機能一覧(届出ナビシステム)

機能名称	機能No	機能の定義	備考	利用者	
				市民	職員
<b>1.届出ナビ-市民利用</b>					
届出情報メニュー	1-1	届出名(「転入届」、「転居届」、「転出届」)が一覧等で表示されること。	「転居届」には中央区から東区への転居など区を跨ぐ区間異動も含む。		
届出画面表示	1-2	届出名を選択することで届出情報の入力画面が表示されること。			
届出情報入力	1-3	日本人世帯の住民異動届出情報を入力できること。 なお、入力は別紙1-2「想定される届出情報CSV出力項目一覧」の「異動事由、世帯番号、連番、個人番号、住民票コード」以外の項目を満たすこと。 届出情報(氏名、万書等)を手書き入力できること。	市外住所入力、本籍入力においては、「別紙市外住所入力(京都市)における留意点」を参照。		
	1-4	世帯構成員情報は5名以上入力できること。			
	1-5	市内住所は入力された住所情報(番地等の数字情報)から、「番」、「号」、「番地」等が自動表示されること			
	1-6	市内住所、市外住所、本籍については、外字を表示、入力(選択)できること。	住記システムからの外字ファイル連携により実現すること。		
	1-7	本籍、筆頭者については、世帯員毎に入力できること。			
	1-8	郵便番号から住所が自動入力できること。			
	1-9	個人番号カードを読み取り、基本4情報(氏名、性別、生年月日、前住所)を自動入力できること。			
	1-10	個人番号カード読み取り後、自動入力された情報を修正できること。			
	1-11	必須項目に対して入力チェックを行い、エラーがある場合はメッセージが表示されること。			
	1-12	入力された文字について書式チェックを行い、エラーがある場合はメッセージが表示されること。	書式チェックについて、全角・半角や英数字等のチェックを想定。		
窓口案内回答	1-14	入力およびエラー確認後、入力した届出情報に関する質問および回答の選択肢が表示されること。	質問および回答の内容は市より提示。		
	1-15	回答を選択することで、次の質問および回答の選択肢が表示されること。	質問数は7問程度(1問あたり最大2階層まで)×3ラ イフイベント(転入、転居/区間異動、転出)を想定。 1ラフイベントあたり最大14問程度。		
	1-16	上記の回答内容に応じて、該当する案内文書が出力されること。 尚、案内文書は、設置場所(区役所)に応じた窓口番号等を印字すること。	設置場所に応じた窓口番号例としては、中央区役所設置端末の場合、「6番(福祉課)」「15番(国民健康保険)」、東区役所設置端末の場合、「1番(福祉課)」「23番(国民健康保険)」等 ボタンの押下等の操作による生成を想定。		
SQRC生成	1-17	入力された届出情報をもとにセキュリティ機能搭載2次元コード(SQRC)を生成できること。 なお、生成されるSQRCには、別紙1-2「想定される届出情報CSV出力項目一覧」の「世帯番号、個人番号、住民票コード」以外の項目を含むこと。			
	1-18	入力した届出情報を住記システムと同一フォント(FUJ明朝体)で任意の届出様式に出力できること。			
届出書出力	1-19	上記機能No1-18の届出様式出力の際、市内住所、市外住所、本籍については、外字を印字できること。			
	1-20	任意の様式にて、SQRCが出力できること。	左記の印字先帳票(「住民異動届」、「案内文書」、「別シート」のいずれか)は本市と協議の上、決定。		
	1-21	転入、転居、区間異動の場合、届出書出力の際に下記、の受付支援情報出力機能(別シート参照)を実現すること。 世帯員に小学生、又は中学生がいる場合、市内住所から、「学校区」(緩衝区含む)を自動印字。 特定の市内住所の場合、職員向け住所関連メッセージを自動印字。	左記の印字先帳票(「住民異動届」、「案内文書」、「別シート」のいずれか)は本市と協議の上、決定。		
<b>2.届出ナビ-職員利用</b>					
届出内容表示	2-1	SQRCを読み込んで、住記システムと同一フォント(FUJ明朝体)で届出情報を表示できること。	SQRCは紙で提示される想定。		
届出情報修正	2-2	上記表示した届出情報を修正できること。			
	2-3	市内住所、市外住所、本籍については、外字を表示、入力(選択)できること。	住記システムからの外字ファイル連携により実現すること。		
	2-4	届出情報として、異動事由が「転入」の場合、個人番号および住民票コードを追加登録できること。			
	2-5	上記、個人番号および住民票コードを追加登録する際に、チェックデジットによるコード入力誤りのチェックができること。			
	2-6	届出情報として、異動事由が「転居」、「区間異動」、「転出」の場合、世帯番号を追加登録できること。			
	2-7	確定した届出情報をCSVデータに変換できること。 なお、CSV変換(出力)項目は別紙1-2「想定される届出情報CSV出力項目一覧」の項目を満たすこと。			
CSVデータ変換	2-8	上記のCSVデータを任意の場所に保存できること。			
システム起動	2-9	届出ナビ-職員利用は、特定フォルダへアクセス可能な場合のみ、起動できること。			
<b>3.管理機能</b>					
<b>3-1.届出ナビ-市民利用</b>					
住所管理	3-1-1	CSVファイル等の取り込みにより市内住所、市外住所のマスダ情報を更新できること。			
市内住所番号表記管理	3-1-2	市内住所番号表記のマスダ情報を登録、更新、削除できること。	No1-6の機能で参照するマスダ		
学校区管理	3-1-3	CSVファイル等の取り込みにより市内住所番号表記のマスダ情報を更新できること。	No1-21 の機能で参照するマスダ		
職員向け住所関連メッセージ管理	3-1-4	職員向け住所関連メッセージのマスダ情報を登録、更新、削除できること。	No1-21 の機能で参照するマスダ		
ジャーナル出力	3-1-5	使用開始日時や使用時間、異動事由、異動者数等のジャーナルデータを出力できること。	個人情報には含まないジャーナルデータ		
<b>3-2.届出ナビ-職員利用</b>					
住所管理	3-2-1	CSVファイル等により市内住所、市外住所のマスダ情報(又は住所辞書情報)を更新できること。	No2-2の機能で参照するマスダ(又は住所辞書情報)		
ジャーナル出力	3-2-2	使用開始日時や使用時間、異動事由、異動者数等のジャーナルデータを出力できること。	個人情報には含まないジャーナルデータ		

## 入力支援機能の実現イメージ

下記例の赤字部分が、自動表示される内容のイメージです。

・入力された住所情報（番地等の数字情報含む）から、「番」「号」「番地」等が自動表示されること	
例	入力内容 熊本市 北区 植木町一木 1 8 3 自動表示結果 熊本市 北区 植木町一木 1 8 3 番地
例	入力内容 熊本市 北区 植木町一木 6 - 2 自動表示結果 熊本市 北区 植木町一木 6 番 2 号

### 受付支援機能の実現イメージ

下記例の赤字部分が、自動表示される内容のイメージです。

・入力された住所情報（番地等の数字情報含む）から、「小学校区、中学校区（いずれも緩衝区含む）」が自動表示されること

例	入力例	熊本市 北区 植木町一木 1 8 3
	自動表示例	熊本市 北区 植木町一木 1 8 3 <b>〇〇学区（〇〇学区）</b>

（ ）の中が緩衝区

・特定の住所情報が入力されている場合、職員向けのメッセージ（確認内容等）が自動表示されること

例	入力例	熊本市 北区 植木町一木 1 8 3
	自動表示例	熊本市 北区 植木町一木 1 8 3 <b>について要確認</b> <b>住所内に を含む場合、……すること。</b>